

伝えたい！わたしたちの想い～東小のためにできること～

本単元で育成する資質・能力

主体性・思考力

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語科第5学年及び第6学年、「B書くこと」の指導事項「ア考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。」「エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。」の内容を受けて設定したものである。本単元では、学習指導要領の言語活動例（2）「イ自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。」を基に、資料を活用して、海田東小学校をよりよくすることを呼びかけるポスターを作成するという言語活動を単元を貫いて位置付ける。全校児童に海田東小学校をよりよくすることに関心をもってもらうために、海田東小学校について様々な記録やアンケートを行い、全国の統計等の資料とそれらを説明する文章を書き、自分の主張を1枚のポスターにまとめて呼びかけを行うことで、図表やグラフ、写真などを含むさまざまなテキストからの情報を読み取る力や、読み取った情報を活用して文章を書く力を身に付けることをねらいとしている。

教材としては、教科書教材「資料を生かして考えたことを書こう」を扱う。本教材は、児童の身近な問題を扱っており、児童が生活と結び付けて考えることができる教材である。また、資料から情報を読み取り、文章の一部分を埋めたり、適切な資料を選択したりして空欄のある文章やポスターを完成させる活動が設定されている。資料から読み取れる情報を整理したポスターの構成が例示されているため、資料を利用し、目的に合わせて必要な情報を読み取ることを学ぶことに適している。

児童は、3学期に入り6年生への準備段階に入ったと、気持ちが高まっている。まずは、学級活動の話合いをもとに海田東小学校をよりよくしていくための行動を行わせてみる。期間をおいた後に再度校内の状況を確認させ、自分たちの行動のみでは学校の改善が難しいことを数値により気付かせる。そこで、改善に向けた取組を進めるという目的意識を明確にした上、本教材で学んだことを生かし、ポスターを作成させ、複数の資料から必要な情報を読み取り、自分が伝えたいことを資料を効果的に使って文章と組み合わせる力を育成する。

- 本学級の児童は、広島県「基礎・基本」定着状況調査において、複数の資料を関係付けて論理的に説明する問題の通過率が71.4%であった。複数の資料から必要な情報を取り出し、それらを関係付けて論理的に考えることに課題がある。

1学期には、「書き手の意図を考えながら新聞を読もう」の単元で、新聞記事の写真や見出し、リード文、本文などを関連付けながら書き手の意図を考えることで、複数の資料から必要な情報を取り出し関連付けながら考える学習を行った。また、「海田町の誇り！「世界人『織田幹雄』」をパネルで紹介しよう」では、複数の本や資料を比べて読み、織田幹雄の生き方・考え方を効果的に伝えるパネル作りを行った。これらの学習を通して、資料から情報を取り出して、書き手や自分の考えと関連付けながら見出しや文章を書く経験は多く積んできている。しかし、資料から情報を読み取り、効果的に引用したり資料を用いたりして文章を書く経験はあまり積んでおらず、十分に身に付いているとは言

えない。

○ 主体的に学ぼうとする「課題発見・解決学習」の単元開発

指導に当たっては、**課題の設定**の段階では、単元の導入前の学級活動から自分たちが学校をよりよくするために取り組んだことについての再調査の結果を振り返り、これまでの取組だけではまだ成果は十分ではないことを数値化して確認する。次に、さらに成果をあげるためには全校児童が共通意識をもって課題に取り組むことが必要であることをおさえる。児童たちは、自分たちが中心となって活動を呼びかけるので、誰にでも分かりやすく、説得力のある伝え方をしたいと考えるだろう。そこで、この単元のゴールとして、学校生活に関わる資料を活用して、海田東小学校をよりよくすることを呼びかけるポスターを作成するという課題をもたせることで主体的に学ぼうとする意欲を高めさせたい。

情報の収集の段階では、教科書教材の4つの資料の長所、短所を表に整理する学習活動を行う。表に資料の種類と長所、短所を書き出し、整理することで、主張を伝えるために効果的な資料を選択するときの観点を明確にする。そして、教材の例文をもとにして資料に書かれている言葉や数字を引用したり、自分の体験と結び付けて書くといった資料を使った説明文の書き方をとらえる。

整理・分析の段階では、教科書に示されているポスターから、ポスターにまとめるときには、事実や課題を伝える資料と、主張を裏付ける事実や調査結果が示されている資料を選択する必要があることをおさえる。また、読み手の興味を引く見出しの設定や文章の要約をすることが必要であることに気付かせ、自分で選択した資料が、効果的に自分の主張を伝えるのに適しているかを確認する。

まとめ・創造・表現の段階では、選択した資料と文章を使用したポスター作成を行う。ポスターの構成、文章の要約や見出しなどを決定していく。交流の場も設定し、グループ内で読み合うことで効果的な構成になっているかの確認を行う。

振り返りの段階では、学級内で意見交流を行う。意見交流を通して、本課題に取り組んで付いた力を考えさせたり、この学習の意味や意義を振り返らせたりする。また、資料を効果的に用いることが、自分が伝えたいことを相手に伝えるために有効だということを、再度アンケートなどで調査し数値化させることで実感をもって振り返らせたい。

○ 「学び合い」における協働的な思考の場の工夫

本単元で身に付けさせたい思考の力は、集めた図表やグラフ、写真などを含むさまざまな資料からの情報を読み取り、自分の主張に応じて整理・分析し、最も効果的な資料を活用して文章を書く力である。その力の育成のために、資料の情報を読み取る場面では、たくさんの情報を読み取り、整理するために、思考ツールの「くま手チャート」を使う。くま手チャートを使うことで、見付けた情報からさらに深い読み取りへ考えを深めることができる。また、資料から読み取った情報から資料の長所、短所を分析する場面では表に書き出していく。表を使うことにより事柄を整理することができる。そして、その表をもとに自分のポスターに使用する資料を選択する場面では、個人だけでなく友だちとも意見を交流し、考えを深めながら思考できるように場の工夫を行いたい。

この資料の選択の場面でグループ交流をすることで、1人では資料からの情報を読み取れず資料の選択が難しい児童も、相互に学び合い、友だちとの交流の中で資料の選択に必要な事柄を明確にすることで、協働的に学ぶよさを実感させたい。

単元の目標及び内容について

- 資料から情報を読み取り，読み取った情報をもとにポスターを完成させようとする。
【関心・意欲・態度】
- 資料の読み取り方の観点を考え，資料から情報を読み取り，情報を整理することができる。
【書くこと ア】
- 引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，考えが伝わるように書くことができる。
【書くこと エ】
- 資料の選び方や文章の書き方を理解し，文章やポスターを書く際に活用している。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ（キ）】

単元の評価規準

| 国語への関心・意欲・態度 | 書くこと | 言語についての知識・理解・技能 |
|---|---|--|
| 【単元を貫く言語活動】 学校生活に関わる資料を活用して，学校生活の改善を呼びかけるポスターを作る。 | | |
| 資料の特徴を活かしながら，自分の主張が多くの人に伝わるようなポスターを完成させようとしている。 | 資料の特徴を考え，資料から情報を読み取り，読み取った情報を整理している。 （ア） 資料を引用したり，図表やグラフ，写真などを用いたりして，自分の主張が伝わるように文章や見出しを書いている。 （エ） | 自分の考えを明確に表現するための資料の選び方や引用の仕方などを理解し，文章やポスターを書く際に意図に応じて活用している。 （イ（キ）） |

指導と評価の計画

全8時間

| 次 | 時 | 学習活動 | 評価 | | | | |
|---|---|--|----|---|---|--|-------------------|
| | | | 関 | 書 | 言 | 評価規準 | 評価方法 |
| | | 学級活動 ○学級活動において，「最高学年に向けて」の学習を行い，最高学年へ向けて学校をよりよくするために自分たちができることを考え，取り組む。 | | | | | |
| 一 | 1 | 課題の設定（1） ○単元前の学級活動での学びを受けて，海田東小学校をよりよくすることについて関心をもつ。 ・これまでの取組だけではまだ成果は十分ではないことを確認し，ポスターを作成し，改善に向けた行動を呼びかけていきたいという願いをもつ。 ・資料を集め，みんなが学校をよりよくするための行動を起こしたいと思えるポスターを完成するという学習計画を立てる。 | ○ | | | ・学校生活の改善を呼びかけるポスターを作成することに，興味をもって取り組もうとしている。 | 発言 行動観察 ノート |

| 次 | 時 | 学習活動 | 評 価 | | | | |
|---|-----|---|-----|---|---|---|-------------------------------------|
| | | | 関 | 書 | 言 | 評価規準 | 評価方法 |
| 二 | 2 | <p>情報の収集（２）</p> <p>○ 4種類の資料から情報を読みとり,それぞれの特徴,長所と短所を整理する。</p> <p>・ 資料から読み取れる情報をくま手チャートに書き出す。</p> <p>・ 2種類の写真,グラフ,図の特徴や長所,短所を表に整理する。</p> <p>・ 資料から読み取った情報を引用したり自分の考えを入れたりしながら資料を説明する文章の書き方を把握する。</p> | | ○ | | <p>・ 資料から読み取った情報を整理することで,それぞれの資料の長所,短所や特徴を見付け,表に整理している。</p> | <p>発言</p> <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> |
| | 3 | <p>○ 残りの資料から情報を読み取り,資料を説明する文章を書く。</p> <p>・ 収集した資料から情報を読み取り,くま手チャートに書き出す。</p> <p>・ 読み取った情報を使って資料を説明する文章を書く。</p> <p style="text-align: right;">【本時】</p> | | ○ | | <p>・ 資料から情報を読み取った情報をもとに,資料を説明する文章を書いている。</p> | <p>発言</p> <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> |
| 三 | 4 | <p>整理・分析（２）</p> <p>○ 教材文「資料を生かして考えたことを書こう」をもとに,効果的な資料の組み合わせや,見出し,構成を確認する。</p> <p>・ 資料を使った説明文の書き方をとらえ,効果的な資料の選び方や資料の組み合わせ方,資料と文章の組み合わせ方,見出しの決め方,配置を把握する。</p> <p>・ 自分のポスターに使用する資料を選択する。</p> <p>・ グループ内で,それぞれが選択した資料を見合い,考えを伝えるのに効果的な選択になっているかの確認を行う。</p> | | ○ | | <p>・ 資料を使ったポスターの構図を把握し,自分の考えを明確に表現するための資料の選び方を理解し,資料の組み合わせを考えている。</p> | <p>発言</p> <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> |
| | 5 | <p>○ 選択した資料から読み取った情報や自分の経験,考えを入れながら学校をよくすることを呼びかける文章を書く。</p> <p>・ どの資料かを示したり数値や言葉を引用したりしながら文章を書く。</p> | | ○ | | <p>・ 伝えたい事柄にあわせて選択した資料の説明文を,資料の内容を引用しながら書いている。</p> | <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> |
| | 6・7 | <p>まとめ・創造・表現（２）</p> <p>○ 資料と文章を組み合わせるポスターを完成させる。</p> <p>・ 選択した資料と要約した文章を組み合わせ配置や見出しを決める。</p> <p>・ ポスターの内容構成がきちんと筋が通ったものになっているか,大切な情報が抜けていないかをグループ内で確認し合う。</p> <p>・ ポスターを完成させる。</p> | | ○ | | <p>・ 資料と説明文の効果的な配置,考えが伝わりやすい見出しなどを考えてポスターを構成し,完成させている。</p> | <p>発言</p> <p>行動観察</p> <p>ポスター</p> |
| | 8 | <p>振り返り（１）</p> <p>○ 単元の学習を振り返る。</p> <p>・ 本課題に取り組んで付いた力を考えたり,この学習の意味や意義を振り返ったりする。</p> | ○ | | | <p>・ これからも資料を有効に使ったまとめ方をしようという意欲をもとうとしている。</p> | <p>発言</p> <p>行動観察</p> <p>ノート</p> |

本時の学習

(1) 本時の目標

- 資料から情報を読み取り、数字や言葉を引用しながら文章にすることができる。

(2) 本時の評価規準

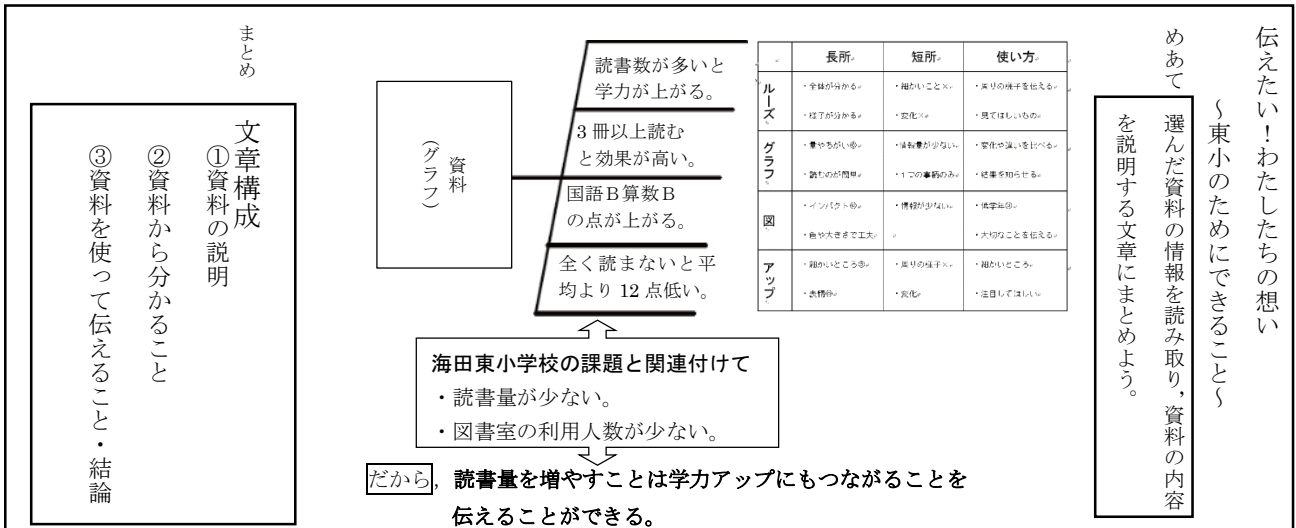
- 資料から情報を読み取り、資料に使われている言葉や数字を正しく引用して文章に整理しようとしている。 **【書く能力】**

(3) 本時の学習展開（4時間目／全8時間）

| 学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫 | ◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て | 評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力 |
|---|--|---|
| 1 前時までの学習を振り返り、本時の課題を確認する。 | ◇前時に作成した資料の特徴をまとめた表を読み返し、資料の長所、短所を確認する。 | |
| めあて 選んだ資料の情報を読み取り、資料の内容を説明する文章にまとめよう。 | | |
| 2 自分のテーマに関係している資料から読み取れる情報を整理する。 ○まだ読んでいない資料の情報を読み取って整理していきましょう。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> □思考の場の工夫 整理する 資料から読み取れる情報をくま手チャートで整理する。 </div> 「1か月の読書冊数と学力テストの平均正答率の関係」のグラフ ・読書の冊数が多くなるほど点数が上がる。 ・3冊以上読むと効果がある。 ・国語Bの点が上がる。 ○誰にでも何の資料か分かるように、くま手チャートに書き出した情報を引用しながら、資料を説明する文章を書きましょう。 ・この資料は、1か月の読書冊数と全国学力・学習状況調査の平均正答率との関係を表したグラフです。 ・この資料によると、1か月の読書の冊数が多いほど、問題の正答率が上がっていることが分かります。特に国語Bや算数Bなどの応用問題の点数が上がっています。しかし、2冊以下の人は平均よりも低い点数しか取れていません。 | ◇資料から読み取れる情報をくま手チャートに書き出して整理させる。 ◇ただ「読書の冊数が多くなるほど点数が上がる」情報だけではなく、「何冊以上読むと効果があるのか」「どの教科テストで効果が上がっているか」など、資料の中のいろいろな数値などを比べることで様々な情報が見付けることができることに気付かせる。 ◇グラフは増減の変化や数値、図は数値や言葉、写真は印象や写してある範囲や写したものなどに注目して情報を読み取らせるようにする。 ◇読み取った情報を引用したり、資料から考えたことを入れたりしながら、何を表した資料かと、資料から分かることを文章で表すようにする。 ◆資料の特徴をまとめた表をもとに、資料がどんな特徴をもっているのか確認しながら考えさせる。 ◆資料の読み取り自体が難しい児童には、どの数値が何を表しているのか声掛けを行う。 | ☆資料から情報を読み取り整理することで長所や短所を見付け、資料の効果的な使い方を考えようとしている。 ◎資料から伝わる情報を整理し、どんな資料か分かるように説明する文章を書こうとしている。 [書くこと] (行動観察・ノート) |

| <p>学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫</p> | <p>◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p> | <p>評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力</p> |
|---|---|--|
| <p>3 グループで交流し、資料と文章を見直す。 ○グループのみんなが資料から読み取った情報を読み合っ て、読み取りが間違ってい ないか、読み取れる情報が 他にないか確認し合いま しょう。 ・この資料からは、全く 読まない場合は平均より も12点近く点数が落ち てしまうことも分かるよ。 ・算数Bの点も上がって いるよ。</p> <p>4 資料から伝えられること を文章に表す。 ○資料から、ポスターを 読む人にどんなことを 伝えられるかを考えま しょう。 ・だから、この資料を使 うと読書量を増やすと、 学力が上がることを 伝えることができます。</p> <p>5 本時の学習をまとめる。 ○今日、選んだ資料と その資料で伝えること をまとめよう。</p> | <p>◇各自が個人で情報を 読み取った資料をグル ープ内で読み合い、正 しく情報が読み取れて いるか確認する。また、 他にも読み取れる情 報があるかどうかグル ープ全員で考えさせ る。 ◆自分で読み取れな かった部分について グループのみんなに 質問したり、アドバ イスをもらったりす ることも大切な学 び合いとなること を意識させ、グル ープ全員で一つ一 つの資料を考え させるようにす る。</p> <p>◇効果的な資料の 使い方を文章で表 すようにする。 ◆3段落目の話 型を示し、入る 言葉を確認 させる。</p> | |
| <p>★めざす児童の姿 わたしは□2の資料を選びました。 この資料は、1か月の読書冊数と全国学力・学習状況調査の平均正答率との関係を表したグラフです。 この資料によると、1か月の読書の冊数が多いほど、テストの正答率が上がっていることが分かります。特に国語Bや算数Bなどの応用問題の点数が上がっています。しかし、2冊以下の人は平均よりも低い点数しか取れていません。 だから、この資料を使うと、読書量を増やすと学力が上がることを説得力をもって伝えることができます。</p> | | |

(4) 板書計画



〈参考〉 本時で使用する思考ツール

〈くま手チャート〉

